

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
5	新家 大輔（9）	<p>1. シティプロモーションペーパーバッグの活用について</p> <p>本市は、製紙業や輸送用機械器具製造業を中心とした産業のまちとして発展し、現在も家庭紙を中心とした製紙業が本市の基幹産業となっています。</p> <p>また、近年は、スーパーマーケットやコンビニエンスストアでのレジ袋の有料化などの影響から、町なかでは、ペーパーバッグ、いわゆる紙袋の需要が増加しているように感じています。</p> <p>ペーパーバッグに商品を入れて使用することはもちろんですが、企業やお店がペーパーバッグを作る目的は、ほかにもあると考えています。特に、お店のブランドやロゴを広めるために、お店の名前や商品がデザインされたペーパーバッグは、顧客が商品を持ち歩く際に広告として活用されています。</p> <p>ペーパーバッグは、リサイクルも可能で、プラスチックバッグに比べて環境負荷が低い、エコで環境に優しい製品であります。プラスチックバッグからペーパーバッグへの転換は、企業や小売店においてCSR（企業の社会的責任）を示す重要な要素となっており、行政が率先してペーパーバッグを使用し、シティプロモーション等に活用することは大変重要であると考えます。</p> <p>本市でも、シティプロモーションペーパーバッグが製作され、本市のPRに活用されておりますが、より市民の目に触れ、多くの人に活用されるようにするため、以下質問いたします。</p> <p>(1) これまでのシティプロモーションペーパーバッグの販売実績はいかがか。</p> <p>(2) 今後のリニューアルの際に、素材を全て紙に変更することはできないか。</p> <p>(3) カラー版のペーパーバッグのほかに、廉価版のペーパーバッグを製作し、シティプロモーションを目的に、市内のイベント等でペーパーバッグを無料で使ってもらうことはできないか。また、ペーパーバッグに協賛企業名やロゴを印刷することはできないか。</p>	市長 及び 担当部長